

奨励賞

中小企業区分

東清株式会社

※事業者の情報は応募時点(2018年)

所在地	岐阜県中津川市駒場 2290 番地の 3
業種	廃棄物収集運搬・水処理施設維持管理
社員数	89 名
受賞歴	なし
ウェブサイト	http://www.tousei-gifu.co.jp

ISO14001 の取得および継続的取組み

取組の目的

(1) どのような人材を育成するのか

自ら『コンプライアンスを徹底する』意識を持った人材、より確実な業務・より効率的な業務に向けて、自ら効果的な方法を考えられる人材

(2) どういった環境負荷の低減や事業活動(売上等)への貢献をねらった取組であるか

そもそも弊社は、環境衛生の保全を事業活動としており、ISO14001 を取得することが

- ① 法令順守・コンプライアンスの徹底
- ② 誰からもみても適切な業務を行える仕組みづくり
- ③ より良く改善する(確実な業務・効率的な業務に向け、自ら効果的な方法を打つ)仕組みを持つこと

(3) 過去の取組みに係る評価をどう活かしたか

法令順守及びコンプライアンスを徹底する必要性、「誰からも見ても適切な仕事ぶりを行う」必要性を感じたため、上記(2)を目的に ISO14001 の取得に取組み始めました。2016 年 1 月にキックオフ式を行い、1 年間の構築期間を経て、2016 年 11 月 ISO14001 を取得しました。

取組の実績

(1) ISO14001 を中心になって運用していく人材(委員)を、役職者および一般社員から選出

実際に業務に携わっている社員が ISO14001 の仕組みづくり・手順書づくりに携われます。そのため、実行性があり、定着しやすい仕組みとすることを意識しました。

なお、会社一丸となって ISO に取り組むため、環境管理責任者を代表取締役が務め、トップ自ら

「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

ISO にコミット・関わりを持つようにしています。

(2) 少ない労力で効果のある施策にすることを意識

継続ができるようにするためです。

現在も、効率的・効果的な運用ができるように、ISO 委員と話し合いを行っています。

(3) ISO14001 の仕組みの一つにある「内部監査」について内部監査員を中間管理職としました。

幹部社員に加え、内部監査員を中間管理職としました。中間管理職は実際に業務に携わる社員に影響があります。そのため、ISO14001 の仕組みやそもそもの取得の目的について理解を深めてもらうことで、部下へ伝えてもらったり、実際の運用に役立ててもらえたりします。また、内部監査をすることで、他部署の理解を深め、良い点は水平展開し、改善点を他部署に指摘するとともに、反面教師としてももらえます。

(4) 法律勉強会の実施

「廃棄物の処理および清掃に関する法律」をはじめ、法律勉強会を行いました。社員の順法意識がより高まりました。



法律勉強会(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)2016年3月

成果・課題

成果について

- (1) 全ての業務につき手順書を作成しました。結果、「仕事のスタンダードがわかった」「迷った時に立ち返るものがある」という言葉を得ています。また、お客様の一つである行政の方から、ISO14001 を取得し、それに則って業務を行っていることに安心感を得て頂いています(毎年年末に報告に行きます)。
- (2) ISO14001 を変わらず運用しています。今後も継続予定です。

「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

- (3) 内部監査員養成講座などを通して、「ISO14001 の仕組みが理解できた」また、「実際の運用との関連が理解できたとの声が上がっています。内部監査員は、プレイングマネージャーとして実際に業務に携わっている中間管理職達です。他部署とは言え、関連している部分、また危険な理由が同じ場面もあります。そのため、具体的な指摘ができます。



【ISO14001 に取組む委員と役職者(認証が届いた際に。2016年12月)】

課題について

- (1) 全社員が「ISO14001 の仕組みを理解できている」とは言えません。そのため、全社員への浸透を図ること、結果、中津川市の生活環境の保全に寄与することです。
- (2) 弊社にとって効果的で、効率的(簡潔)な仕組みにすることにより、継続性を高めることです。

今後の改善

- (1) 内部監査で、監査を受ける社員を順番に廻します。こうすることで、全社員が ISO14001 の仕組みを理解できるように努めます。また、会社全体で年 2 回、また、各部署で年に約 2 回、合計年 4 回の研修を行います。それにより、法令および ISO14001 の目的や仕組み・実施することの理解を深めます。
- (2) 効率的な仕組みにするために、不必要になった仕組みは無くしていきます。

審査委員会からの講評

一般廃棄物収集運搬、水処理施設維持管理を主業とする会社である。自らを徹底するコンプライアンス意識を持つ人材を育成することを目指している。ISO 取得をきっかけに従業員に対しての環境意識向上に取り組んでいる。内部監査を通じて、部署間の理解を深め、良い点の水平展開及び改善点の指摘は、社員への ISO14001 の仕組みに関する理解を高めることができた。結果的に所在地の生活環境保全に寄与している。また、内部監査研修や監査を受ける社員を順番にすることで、取り組みのレベルアップを図れる。今後は社員の主体性を生かした取り組みを継続していただきたい。